

# 「結ぶプロジェクト」拠点の持つつながりを活かし仲介機能を発揮

農業者と農業者等を結び、農業者発の意欲的な取組の結実に伴走する。  
「現場と農政を結ぶ業務」を活かした発展的業務を日頃より模索。

## ○ 施策分類

担い手

## ○ きっかけ・背景、課題の把握

農業者からの前向きな発案及びそれに呼応する農業者の声がかきかけとなった。農業者の意欲的取組における課題に対し、拠点が仲介・伴走支援する。主な事例は2点。

- ① 「高付加価値農産物を生産し、販売面も工夫する農業者で集まり座談会をしたい」という農業者からの要望。農業者が新たな取組に臨むに当たり、他農業者の体験談が大いに参考になること、農業者間のつながりが取組の後押しになることを認識した。
- ② 「耕種農家へ青刈りとうもろこしを軸とした連携を呼びかけたい。行政の設けた場であると効果的であり、機会をいただきたい」という畜産農家からの要望。行政の仲立ちにより、農業の発展に寄与する農業者間の結びつきが円滑化することを認識した。

## ○ 取組の内容

- ① 趣旨に適う農業者に座談会参加を打診し快諾され、また、拠点の仲介に対する評価と、取組の拡大を望む声が聞かれた。
- ② 「佐賀県大規模農業者と佐賀県拠点との意見交換会」において、畜産農家から耕種農家へ説明と協力要請の場を設置。双方との意見交換により情報収集、仲介を進めた。
  - ・ 農業者への仲介機能の発揮こそが拠点の強みを活かす伴走支援と定義し、拠点全体の取組とすべくプロジェクト化。ワーキングチームを発足し班を横断し効果的連携。

## ○ 効果・成果、今後の方向性

- ① 2月に「高付加価値農産物の適価販売に係る座談会」を実施。地域、作目、販売面の工夫に広がりのある気鋭の農業者が参集。相乗効果、今後の広がりが期待される。
- ② 耕種農家と畜産農家で新たな結びつきが生まれ、青刈りとうもろこしを軸とした耕畜連携に具体的な前進が見られた。
  - ・ 意見交換履歴、対応記録の蓄積をより有効に活用する方向性を模索し、また、市町村域、県域を越えた連携が可能な行政機関という特性を活かした発展的取組を目指す。



① 特色ある農業等に取組む農業者の座談会、自由度高く様々な意見を交換



② 大手耕種農家に対し、酪農家から青刈りとうもろこしに関して状況と協力の呼びかけ

### 体制図



農業者発の前向きな取組を拠点が仲介